



子ども達の信仰年

10年間の召命練成会が紡いできたものは？



10年間の間に、主任司祭の異動、役員会メンバーの交代、それに最初の委員の高齢化など様々なこともありましたが、私たちが手取教会は、この10年、毎年練成会を主催してまいりました。主催するとは、必要経費をバザー売上金から賄い、食事つくりはマリア会が担当、力仕事をヨゼフ会が引き受け、その他さまざまな奉仕を共同体全体が引き受けたという事です。

スタツフは、手取教会の司祭・カテキスタ・日曜学校担当者をはじめとして、サレジオ会の司祭・助祭・神学生・志願生、それにサレジアンシスターズ、長崎純心聖母会、イエスのカリタス会、幼きイエズスのシスター・志願生など、いつも30人が揃い、参加者は、手取教会と熊本地区の教会の小・中・高生約40人（幼稚園児も）。

「10年間、手取教会で召命練成会をさせて欲しい」という思いがけないサレジオ会のオファーから始まった練成会は、去る12月26・27日、1泊2日の日程で最終回、10回目を終えました。

はじめるにあたり、教会主催であることを考え、「召命推進特別委員会」を設立し、同時に推進のために基金を設けました。

「信仰年」を旅するために

若者の司牧という面から

田中重治神父

3年間のイタリヤでの勉強を終え、昨年夏に無事帰国しました。皆さんの温かいご支援お祈りに心から感謝申し上げます。

さて、「若者が教会に来ない」と言うことをよく耳にします。でも、わたしたちは問うべきでしょう。「若者たちをわたしたちが教会から遠ざけているのではないか」と。

第2バチカン公会議では、青少年のことを「教会の希望」であると述べました（キリス

ト的的教育）。公会議の閉会にあたって出された教皇パウロ6世のメッセージの終わりの部分は若者に向けられ、教皇は「教会は信頼と愛をこめて若者の皆さんを見つめています」と述べ、変化の激しい社会の中で、信仰を持って社会を築いていくようにと励ましました。

福者ヨハネ・パウロ2世教皇は、何度となく若者たちを「教会と社会の希望、宝」と呼び、1986年から世

の教会の小・中・高生約40人（幼稚園児も）。

導・カツカレーなど、子どもたちにとって魅力いっぱいの内容だったのは勿論ですが、ここまで長く続けられたのは、考えてみてもとても不思議なことです。

ぜひ、報告したいことがある。今、福岡教区で司牧されている若い神父様たちは、神学生時代に皆さん参加して下さいました。修道会に1人が志願し、熊本地区3人の小神学生がこの練成会を体験豊かなスタツフ陣の指導・カツカレーなど、子どもたちにとって魅力いっぱいの内容だったのは勿論ですが、ここまで長く続けられたのは、考えてみてもとても不思議なことです。

験していただきます。多くの人の祈りと物心両面の協力のうちに実施された練成会ですが、主催者は神様だつたのではないかと思えてなりません。10年間の取り組みが終わりつた今、私たちが手取教会は前に向かうのか？ どうするの？ 子どもたちが残してくれた感想文を、私たちはどのように受け止め、応えていけばいいのでしょうか。神様はどんなお働きをなさるのでしょうか。

子ども達が学んだことは「行う信仰」



「学んだことは、信こうについて、しんこうとは、信じる

ています。福岡地区の数名の青年が自主的に始めた中高生のためのキャンプFYCCは

昨年夏で10回目となり、今まで240人近くの中高生が一度は参加し、200人近くの青年がスタツフとなつてきました。青年たちは今、確かに動いています。

青年司牧は彼らを暖かく無条件で迎えること、彼らを信頼し、希望をおくことから始まります。そして、心理学的にも「ある程度の人数が集まる」若者グループが重要で

す。若者たちには信仰の内容の学びより、これからの大人としての人生を選択し、「イエスの弟子」として生きるこ

とができるように導いていきます。具体的には日常生活で常にイエスと対話しながら福音的価値観に基づき判断できるように助けていきます。そこで、彼らが実際に直面している諸問題に、福音の光を照らし、就職も、司祭修道者になることもすべて、神様から一人ひとりへの特別な召命です。応えて生きるために、単に霊的だけでなく、人間的養成も必要となります。そして、弟子として生きるため、教会への所属が必要だと意識させ、青年グループから小教区へと根づかせていきます。教会は若者が人生の羅針盤とし

ています。福岡地区の数名の青年が自主的に始めた中高生のためのキャンプFYCCは昨年夏で10回目となり、今まで240人近くの中高生が一度は参加し、200人近くの青年がスタツフとなつてきました。青年たちは今、確かに動いています。

とができるように導いていきます。具体的には日常生活で常にイエスと対話しながら福音的価値観に基づき判断できるように助けていきます。そこで、彼らが実際に直面している諸問題に、福音の光を照らし、就職も、司祭修道者になることもすべて、神様から一人ひとりへの特別な召命です。応えて生きるために、単に霊的だけでなく、人間的養成も必要となります。そして、弟子として生きるため、教会への所属が必要だと意識させ、青年グループから小教区へと根づかせていきます。教会は若者が人生の羅針盤とし

て聖書を手にし、祈りのうちに読み続けること（レクチオ・ディビナ）を強く勧めています。現代の若者を、科学的研究成果を用いながら知ることも大切ですが、イエスのメッセージを若者たちの用語に訳して伝える（言葉やコミュニケーション手段）ことが必要です。教皇ベネディクト16世がツイッターを始めたことがニュースになっていました。そして何よりも、生きた証し、つまり大人の信者が日常生活をイエスの弟子として、いつもいきいきと生きていく姿が重要です。

福岡司教館

クララ 八重子修道女

聖心のウルスラ宣教女修道会のシスター・クララ藤光八重子は、1月12日8時25分、大動脈解離のため帰天された。1932年1月14日生れ。享年80歳。1957年同修道会に入会、1961年誓願宣立。長年、福岡、延岡、三雲各地で奉仕し、栄養学と料理を学び、姉妹達のために、台所での奉仕として立つ事が多かった。華をこよなく愛し、聖堂の花、玄関の花、庭の花や土扱いを好んだ。一昨年5月、4人の同期生と共に誓願50周年を祝った。

カトリック新聞オンライン開設

http://www.cathoshin.com  
カトリック新聞社は、今年創刊90周年を迎え、1月から、インターネットの情報サイト「カトリック新聞オンライン」を始めた。これは、従来の「カトリック新聞」をベースにした新しいサービスで、主な記事や情報を電子メールで配信する「週刊ニュースレター」（無料）でも届けられる。

カトリック新聞社によると、「混迷の度を深める社会にあって私たちは、教会メディアとしての原点に立ち返って、新しい一歩を踏み出すことにしました。限られたスタッフで、しかも週刊紙を発行しながらの挑戦ですから、不備な点もありますが、1人でも多くの人に「よい知らせ」を伝え、各地の善意の人たちを結び付けていくことができるよう努力します」と話している。

中村克徳神父による黙想会  
①一泊黙想会 2月9日(土)15:00~10日(日)15:00 参加費8,500円  
②四旬節一泊黙想会 3月16日(土)15:00~17日(日)15:00 参加費8,500円  
③聖なる3日間の黙想 3月28日(木)~31日(日)  
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家  
811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30) ・Fax0940-32-3385  
Eメール fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp  
インターネットで検索

ミサ用ワイン  
VINO DE MISA  
スイートタイプ(赤)(白)  
ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰  
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち  
草苑 (SOU-EN)  
カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。  
木下株式会社  
TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5

### 教区福岡地区女性の会

#### 新年会に新たなパワーを頂いて

福岡地区カトリック女性の会(以下、女性の会)は、1月8日(火)司教館で研修会と新年会を開催した。研修会では宮原司教から昨年11月に行われたシノドス(世界代表司教会議)について講話が行われた。講話の中で司教はシノドスのテーマが「信仰伝達のための新しい福音宣教」であったこと、グローバルリズムと言われる社会に、どのように応えるのか、誰が実行するのかなど活発な討議が行われたと語った。また、実りが少ないと言われる日本の教会に



についても、数ではなくどれだけの人々をキリストと出会わせているか「予備福音宣教」という意味で、教会の垣根を越え社会に働きかけている「女性の会」のような存在は、世界に誇れます、と励ましの言葉もあつた。その後、司教団の「今すぐ原宥廃止を」を受け、一昨年から行っている東日本震災支援活動の一環として、「福島原発事故における親子支援」を決定し、実行委員会を立ち上げ準備を進めていることが説明され、各小教区への協力を要請するためのポスターや趣旨説明文などが各委員さんへ手渡された。新年会では、弁当と一品持ち寄りした数々の新春らしい料理で女性団体のらしい華やかだ集いとなった。

### 典礼シリーズ ⑨

【質問】「最近、『洗礼は自分の意志で受けるものだから、子どもが大きくなって自分で決めたらい』という意見を聞きます。幼児洗礼の意義をどう伝えたらよいでしょうか。」

【質問に答えて】歴史を紐解いてみると、教会は「最初の時代から成人ばかりではなく幼児にも洗礼を授けて」(幼

児洗礼式)「緒言」きました。そして現代においても、教会は信者の両親に対して「幼児が誕生後数週間以内に洗礼を授けられるよう配慮する義務を有する」(『新教会法典』97条)と述べて、幼児洗礼の習慣を堅持する姿勢を保っています。

これに対して、質問にあるように「洗礼は自分の意志で受けるものだから、子どもが大きくなって自分で決めたらい」という反論が、教会の長い歴史の中でも出されてきました。また、両親がともに

にも出来る何かの役割が必ずあります。是非仕方なくではなく、年齢も経歴も何も関係なく同じ信仰を持つ大きなつながりを信じて、ほんの少し自主的な気持ちをもって女性の会の委員として活躍して頂きたいと思えます。」と語っている。

福岡地区カトリック女性の会とは、1982年、当時の福岡教区長平田三郎司教の要請と認可を受けて「福岡教区福岡地区婦人会」として発足、30年を迎える。福岡地区の各小教区から派遣される女性の集まりでもある。主に、福岡教区の叙階式、聖香油ミサや帰天された司祭の葬儀・告別式など、カテドラルで行われる教区行事を支えるという使命を頂いての出発だった。発足の8年ほど前から小教区を越えて自発的に集まり、黙想会や勉強会などを行っていた「婦人の集い」が「地区婦人会」の基礎となった。当初から行っていた今村聖母園など高齢者施設へのボランティア活動、厳冬の時期のホームレス支援など、積極的な社会の福音化にも参加している。発足と同時に世界のカトリック女性と繋がる日本カトリック女性団体連盟に正式加盟し、女性信徒として特に今、「い

### 感謝と決意を新たに各地で成人式

のちを守る運動」の取り組みにも関わっている。2011年には、名称を「福岡地区カトリック女性の会」と改名。今年からは、福島原発の被災者親子の保養を支える活動への取り組みが発表された。



1月6日、主の公現の祭日に、大名町教会では、ミサの中での新成人の祝福式が行われた。対象者は10名以上だったが、当日出席者は一人。しかし、立派に成長し、真新しいスーツを着た新成人の凛々しい姿を見て、教会一同大きな喜びに包まれた。ミサの中では、新成人がこれから社会だけでなく教会でも大切な一員として、任せられた責任を果たしていく決意を表明した。そして教会全員も新成人とともに、新しい一年を互

と改名。今年からは、福島原発の被災者親子の保養を支える活動への取り組みが発表された。

いに心を合わせ、支え合いながら歩んでいけるように願って、信仰宣言とお祈りを捧げた。ミサの後は、新成人を囲んで新年を祝うパーティーが行われ、有志により作られたカラーやぜんざいがふるまわれ、また青年や子供たちによる歌や踊りの出し物もあり、楽しいひと時を分かち合った。新成人の希望あふれる姿に、それぞれが自分自身のキリスト者としての使命を思い起こすことができた、そんな新年にふさわしい日になった。その他、北九州や熊本各地の教会でも参加者は少ないものの、新成人の祝福式が行われた。元旦のミサの中で成人式が行われた教会もあった。以下のような新成人からの抱負が寄せられた。

\*成人者は、1人しかおらず、恥ずかしい上に緊張しました。しかし、たくさんの人からお祝いの言葉をいただき、とても嬉しく思いました。

村田誠(西新教会)

今まで自分が頼ってきたような、年下に頼ってもらえる大人らしい大人になれるように頑張りたいと思います。

森川和宣(大名町教会)

私は現在、新潟の大学で農作物、主に米についての勉強をしています。この日本の将来の食事情を少しでも変えていけたらいいなと思っています。福岡という地を離れ、遠く離れた新潟で一人暮らしをするということは、決して楽しいことではありませんでした。が、今はもう雪国での生活にも慣れ、福岡の生活が懐かしく思えます。さて、新成人を無事迎えることが出来たわけですが、姉、兄、教会の先輩方たちの成人式がこの前のような気がして、自分がお祝いされる側というのが、いまだに信じられません。私も含め、両親家族も私が成人を迎えたという実感はないと思います。ここまで私が成長できたことは、神さまは勿論のこと、私の家族、そして初聖体、堅信を受けさせてくれた教会の皆様の支えのおかげだと思っています。これからは、新成人として人の役に立ち、社会に必要とされる人間になれるように日々努力を重ねていきたいと思えます。

村田誠(西新教会)



☆目からウロコ 聖書の読み方 レクチオ・デイヴィナ入門



好評の「目からウロコ」シリーズ。本書は、信仰生活の中核「聖書」へと私たちを導きます。聖書をゆつくり読む「レクチオ・デイヴィナ」は、古代から行われたきた最も基本的な祈りです。このレクチオ・デイヴィナ入門書として最適な一冊です。なお、続編として、「目からウロコ 福音書の中にイエスを「見る」祈り」が2009年に発行されています。

女子パウロ会 発行  
税込価格 788円

☆「キリストの祭司職へ招かれているわたしたち」  
京都司教区聖書委員会、聖書講座シリーズ10



信徒の祭司職の正しい認識だけでなく、信徒固有の特質も考察しながら、キリスト者の召命発見と、福音宣教の使命の再認識を促します。すべてのキリスト者を信仰へと駆り立てる必読の書。

サンパウロ社 発行  
税込価格 1470円

不動産全般/売買・賃貸・管理  
なんでもお問い合わせください

**(株)ジャパン・スマイルか**  
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子  
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号  
TEL 092-761-8800  
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**  
ヨゼフ 森山 森山 新太郎  
福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

本との出会い 人との出会い 神との出会い

Pauline セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD  
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F  
平日/AM 10時~PM 5時40分  
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)  
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601  
URL:http://www.pauline.or.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える III

福岡地区聖書講座

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『ルカ福音書におけるゆるし』
日時：3月17日(日) 14:00～16:00
講師：寺浜亮司神父(直方田川教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：共に学び、生活の場で伝えよう～『ルカ福音書が呼びかける信仰』～
日時：2月3日(日) 14:00～16:30
講師：L・ベリオン神父(行橋教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

熊本地区神学講座

第3回講座 テーマ：『対話に生きる』
日時：2月24日(日) 13:30～16:30
会場：手取教会信徒会館ホール
第1部：諸宗教対話/講師：S・ソットコロラ神父
第2部：共に生きる/講師：鍋島隆啓(天台宗清水寺住職)・恭子(カトリック信徒)ご夫妻
受講料：1000円
申込先：☎096-352-1515 手取教会 岸宛
第4回講座：3月17日(日) 13:30～予定

震災のための祈りのリレー

日時：2月11日(月) 6:30ミサ～19:00夕の祈り(テゼの祈り)
場所：カトリック高宮教会
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一

日本カトリック司教団主催 東日本大震災2周年 犠牲者追悼と復興祈願ミサ

日時：2月20日(水) 18時
場所：カトリック麹町(聖イグナチオ)教会 東京都千代田区麹町6-5-1

福岡地区キリスト者一致推進の集い

日時：2月24日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、3階会議室
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方はどなたでも)
内容：\*第一部：祈りと出席者の自己紹介
\*第二部：現在のエキュメニカル活動協力について
\*第三部：養成(教えと分かち合い)
講師：ミシェルG.神父(箱崎教会)

FYCC同窓会

日時：3月20日(水・祝日) 10時～17時30分
場所：福岡司教館・浄水通教会
対象：FYCCに関わった全ての人
参加費：500円(昼食費込み)
申込み・問合せ：fycc2013dosokai@yahoo.co.jp

ホームレス支援グループ・スープの会

◆大名町教会ホームレス支援グループ・スープの会
「越冬炊き出し、今年もやります!グループ・小教区の垣根を越えて、スープを作る人、スープを配る人、あなたの手をお貸しください!」
期間：2月と3月の2週目までの毎金曜日
問合せ先：080-4317-4152 飛永

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

司教館からふと見上げるとマジロが、実をついばんでいます。二羽の雀さえ、主は守り給うが思い出されました。

編集後記

WYD2013 リオデジャネイロ大会

テーマ：「だから、あなたがたは行ってすべての民をわたしの弟子にしなさい」
日程：7月19日(金)～7月31日(水)
参加対象：18～35歳の青年(高校生不可)
費用概算：約35万円+国内移動費等
申込締切：4月12日
申込み方法・詳細はwebサイトにて
http://www.cbcj.catholic.jp/jpn/committee/wyd/rio/index.htm

熊本

熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 2月21日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096-3368-2
軍教会 ☎096-3368-2

北九州

北九州召命を共に祈る会
(日時) 2月14日(木) 14時(場所) カトリック戸畑教会(内容) ミサとミーティング(指導) 谷口尚志神父(新田原教会)(連絡先) ☎0949-24-9905 藤井

案内板

会合と催し

2月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 2月

5日(火)～8日(金) レンブートル会研修(空室0)
9日(土)～10日(日) 一泊黙想会(指導:中村克徳神父)(空室25)
10日(日)～11日(月) 聖マリア在俗会 黙想会(空室10)
15日(金) 福岡チェナクルム
16日(土)～17日(日) 山口島根地区信者養成研修会(空室0)
20日(水) ミカエル会
24日(日)～3月2日(土) 聖アウグスチノ会 黙想会(空室10)
3月 1日(金)～3日(日) 相即人間学会(空室15)
4日(月)～7日(木) 九州説教者セミナー(空室15)
\*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
\*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：イエス様に祈りを学ぶ
・日時：2月14日(木) 10時～15時
・内容：ナザレの聖家族の生活における祈りの重要性 1
指導者：フランコ・ソットコロラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：3月14日(木) イエスの生涯における祈り
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：2月16日、3月2日、3月16日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

◆福岡
■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾
■こひつじ会 QOLの向上(日時) 2月9日(土) 11時から16時(内容) ザビエル旧聖堂のマップの製作(対象者) 心が疲れている人とその家族(場所) 福岡黙想の家(問合せ先) ☎0940・33・2731 吉永
■聖ヨアキム&聖アンナ会(日時) 2月13日(水) 13時(場所) 笹丘教会(内容) ロザリオ、ミサ聖祭(連絡先) ☎090・9568・0076 野川
■ザビエル合唱団練習日(日時) 2月16日(土) 13時30分(場所) 大名町教会4階(内容) ザビエル賛歌、ザビエルミサ曲など(指導者) 橋本富美(参加費) 2000円(問合せ先) ☎0940・33・5432 橋本 団員募集中
■在世フランシスコ会集會(日時) 2月17日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎

◆第58回典聖歌研修会(日時) 2月17日(日) 14時(場所) カトリック大楠教会(内容) 聖週間の典聖歌(講師) 深堀純氏(連絡先) ☎092・541・3730 松山
■カルメル在世会集會(日時) 2月18日(月) 10時30分(場所) 福岡女子カメル会聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話『靈魂の城』(大聖テレジア著)(指導) 『カルメル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360 中村
■グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 2月19日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(内容) 四旬節の歌とグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子
■子どもの問題を考える会③(日時) 2月23日(土) 13時(場所) 大名町教会4階(内容) 児童養護施設の現場から(講師) 村松泰隆神父(津サレジオ会修道院)(参加費) 1000円(連絡先) ☎090・3665・9070 江口(主催) 子どもの問題を考える会
■心の健康セミナー(日時) 2月24日(日) 14時から(場所) 福岡黙想の家ログハウス(テーマ) 死という危機とそれに対する私たちの霊

的態②(指導) 小宮豊氏(精神科医)(参加費) 資料代500円(連絡先) ☎0940・32・1173 矢田
■テレジア友の会(日時) 3月2日(土) 13時30分(場所) 福岡女子カメル会テレサの家(内容) 幼いイエスの聖テレジア自叙伝(指導) 九里彰神父(カメル会)(問合せ先) ☎092・807・7361 カメル会
■カトリック難民移住移動者委員会長崎教会管区セミナー(日時) 3月10日(日) 14時から(場所) 大名町教会1階講堂(テーマ) 希望を決して失わない『バガサ・イワテ』震災から2年、復興の3年目(問合せ先) ☎03・5632・4441
■福岡ホスピスの会勉強会(日時) 3月10日(日) 14時(内容) スピリチュアルペインに寄り添う(場所) 大名町教会(講師) 加藤理人氏(みどころホスピス臨床心理士)(参加費) 一般1000円/会員500円(問合せ先) ☎092・791・7532

◆佐賀
3985・5209 松田
■佐賀祈りの集い(日時) 2月2日(土) 10時(毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎095・2・30・8347 吉武
■熊本地区召命を共に祈る会(日時) 2月21日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・3368・2
軍教会 ☎096・3368・2

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
TEL 830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL 0942-35-3322(代表)
FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 吉

Paraiso, Jesus, Maria
2月の休業日 3、10-11、17、24
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930